

CFCCの使用実績 腐食環境下における構造物補強

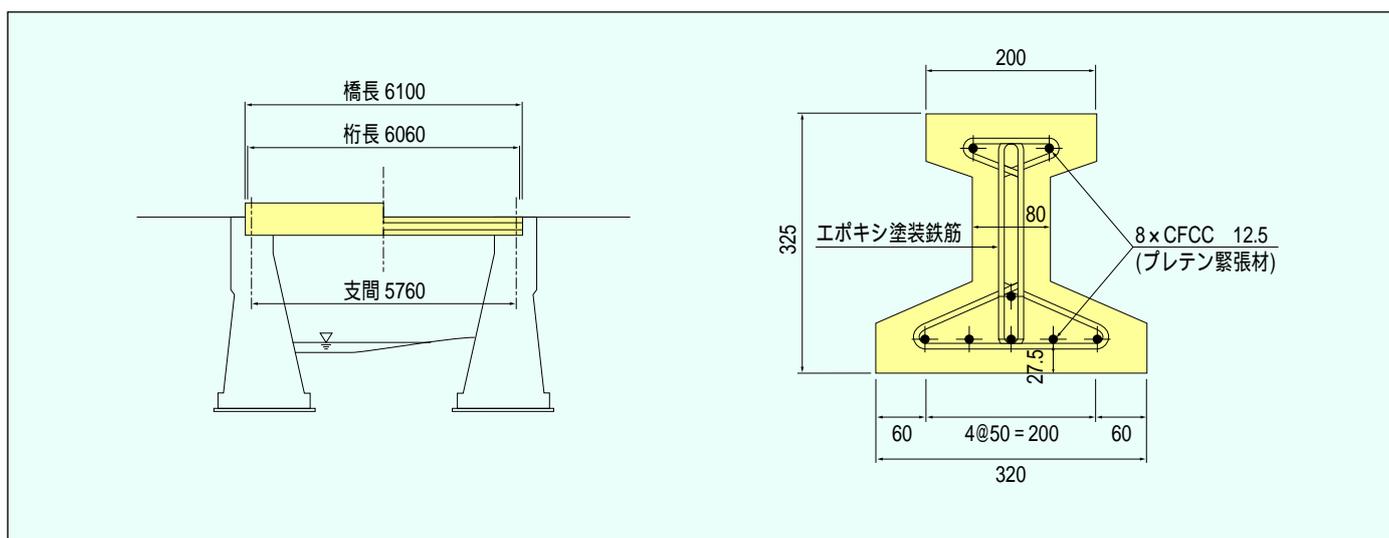
■新宮橋（世界で最初のCFRP緊張材使用のPC橋）

新宮(しんみや)橋は、炭素繊維補強プラスチック(CFRP)製の緊張材が世界で初めて使用されたPC橋です。本橋は塩害を被った旧RC橋の架け替え工事として計画され、旧建設省土木研究所を中心に設置された「新宮橋に関する設計・施工検討委員会」で技術検討が行われ実現しました。塩害対策として、24本の桁全ての緊張材にCFCCが用いられました。建設地の石川県の能登半島北西側は、飛沫塩分による日本でも有数の塩害地域ですが、現在も健全な状態を呈しています。

発注者	石川県
所在地	石川県
規模	橋長 6.1m 全幅員 7.0m 全24本のPC主桁にCFCCを使用
使用材料	CFCC1×7 12.5
補強材用途	PC主桁のプレテンション緊張材
竣工	1988年10月



構造図



< ACCカタログより >

